

国産35ミリ一眼レフカメラの原点

登録番号	第 00279 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第一種
名称 (型式等)	アサヒフレックス I 型		
所 在 地	東京都千代田区		
	一般財団法人 日本カメラ財団 日本カメラ博物館		
所 有 者 (管理者)	一般財団法人 日本カメラ財団		
製作者(社)	旭光学工業株式会社（現：リコーイメージング株式会社）		
製 作 年	不明		
初 出 年	1952年		
選定理由	国産初の35mm一眼レフカメラである。独自のねじマウントによりレンズ交換が可能である。一眼レフの大きな欠点の一つは露出後のファインダー像消失（ブラックアウト）であるが、シャッターボタンを押すとミラーが上昇して露出を行い、シャッターボタンを離すとミラーが戻りブラックアウトが解消されるエバーリターンミラー機能を搭載した。この機構はその後シャッターボタンを押すだけでミラー上昇、露出、ミラー復帰という一連の動作を行い、ブラックアウトを解決する本格的なクイックリターンミラーの開発につながり、一眼レフをカメラの主流に導く原動力となった。日本が世界を席巻した一眼レフカメラを独自技術で製品化した最初の機種として重要である。		
登録基準	一ーロ（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		

公開・非公開	公開
写 真	
その他参考となるべき事項	